

## 葉山町都市計画マスタープラン（素案）からの主な変更と修正

## 1 表記のゆれに関するもの

- (1) “等”と“など”“、”中“と”なか“、”他“と”ほか“といった漢字とひらがなが混在している記載についてひらがなに統一しました。
- (2) “では”と“おいては”を“では”で統一するなど表現を統一しました。

## 2 計画名の整理

一般的な「都市計画マスタープラン」に関する記載と「葉山町都市計画マスタープラン」についての記載が混同しないよう、整理しました。


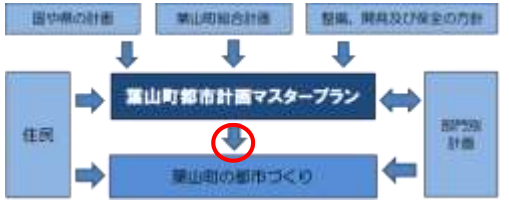
また、部門別計画の名称については括弧で括りました。

## 3 修正箇所 表現を整理したもの

	頁	行	修正前	修正後
1	18	9～	そこで、既存の公共施設の効率的・効果的な運用、将来の需要を見据えた最適化を進めるなど、・・・	そこで、既存の公共施設の効率的・効果的な運用、将来の需要を見据え、最適な配置の検討を進めるなど、・・・
2	24	28～	青い海や緑豊かな丘陵など四季折々に美しい変化を見せる自然景観は、葉山町の最大の魅力である住環境の基盤であり、明治期以来、御用邸をはじめ別荘の多くある保養地として文化人に愛された街並みが「御用邸のあるまち」として品格や風格の感じられる、葉山の魅力を伝える景観の一つとなっています。	青い海や緑豊かな丘陵など四季折々に美しい変化を見せる自然景観は、葉山町の最大の魅力である住環境の基盤となっています。また、明治期以降、御用邸や多くの文化人らが葉山に別荘を構えたことで、品格や風格の感じられる独自の別荘文化が形成され、葉山の魅力を伝える景観の一つとなっています。
3	28	7～	こうした中であって、「第五次葉山町総合計画」においては、町民一人ひとりが健やかに、幸福感や満足感を感じながら、自己実現できる暮らしと、人と人、空間と空間、人々の想いを過去・現在さらには未来へつなげることを後押しする「自分らしく、つながるまち」を、町民の想いから見る令和22年（2040年）のまちの姿と定めています。	「第五次葉山町総合計画」では、町民の想いから見る令和22年（2040年）のまちの姿を、葉山町の歴史や自然環境を大切にしながら、自立しつつ、人・地域・自然など葉山を織りなす様々なものにつながるまちの実現を葉山町に関わる全ての人とともに歩みを進めていくことと定めています。
4	28	20～	本計画は、この総合計画を最上位計画とし、都市計画分野の施策の方向性を総合的・体系的に定めるものであることから、将来都市像は総合計画と共有するものとし、その実現を都市計画分野から下支えるものとします。	そのため将来都市像は、都市計画分野の施策についての将来的な方向性を、上位計画である「第五次葉山町総合計画」と共有し、その実現を都市計画分野から下支えるものとします。
5	30	参考		（将来人口の傾向を算出するために葉山町が独自で算出したもの）
6	83	6～	自然を活かした都市環境の形成をめざすとともに、うるおいのある市街地整備によって、自然とまちが・・・	自然を活かした都市環境の形成をめざすとともに、自然とまちが・・・
7	44	7	・防災・減災の観点から、無電柱化の研究に取組めます。	・防災・減災の観点から、県と連携し、無電柱化の取組みをすすめます。
	53	9		
	64	22		
	75	27		

## 4 記載誤りの修正

## 【正誤表】

	頁	行	誤	正
1	4	図		
2	8	下表 タイトル	年齢区分別推計人口割合の推移	年齢区分別人口割合の推移
3	10	下表 タイトル	流入・流出人口及び昼夜間人口の推移	昼夜間人口の推移
4	30	参考 出典	国勢調査	第5次葉山町総合計画